

1、本日の講座はいかがでしたか

- ・よい 23
- ・ふつう 0
- ・あまりよくない 0

2、本日の講座の感想をお願いします。

- ・実践的なことが多く、とても勉強になりました。事前資料が多く、どうなることかと少し心配でしたが、会話形式が多くあったという間の楽しい4時間でした。
- ・ブレイクアウトルームで話す時間も多く、情報共有もできて良かった。つなひろを教室で活用したいと思いました。
- ・自分一人で「つなひろ」を見るより、ずっと理解が深まりました。
- ・質問づくりがとても難しかったです。すぐにでも試してみたい具体的な活動事例をおききすることができて有益でした。つながる、ひろがるにほんごのサイトづくりの裏側についてもお聞きすることができたのも良かったです
- ・後半からの参加でしたが、ブレイクルームも良かったです。半场さんのお話とても興味深かったです。
- ・全12回全部内容が濃くどれも大変勉強になりました。本日の有田先生のお話もまとめとして素晴らしい回で本当に今回 FN さんの研修に参加させていただき本当に光栄でした。終わってしまうのが寂しいですがメーリングリストで是非またこのご縁を繋げていきたいです。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。「つなひろ」について私の教室では、年末年始など教室がお休みになる前に自己学習用としてとして口頭で紹介するのみとなっています。学習者さんと一緒にスマホなどを使って、実際にやり方の確認をするまでには至っていないので、今後はクラスの中で「つなひろ」を使ってみようの回を作りたいと思いました。本日、具体的な「つなひろ」の使い方を教えていただき、教材の使い方を具体的に知ることが出来れば、日本語教師ではなく、学習支援者(420 時間修了や検定合格者ではないボランティア)であっても、十分な支援は出来ると感じました。文化庁の方にぜひお伝えしたいのですが、どうか「学習支援者のキャリアラダー」を国に作っていただきたい！（日本語教師にではなく、学習支援者と呼ばれるボランティアに対して）←既に存在していたら恥ずかしいのですが…。学習者さんの一番近くで関わる学習支援者のレベルアップが地域日本語教室全体のレベルアップにつながると思いますし、学習者さんも継続して通っていただける教室作りにもつながると思います。 また、学習支援者のキャリアラダー(何が出来るようになれば支援者レベル 0 から 1 になるかといった)のような指標があれば、学習支援者(ボランティア)のモチベーションアップにつながります。ボランティアも継続して活動をつづけようという気持ち

になれます。(ボランティアの私自身がそう感じているので)ボランティア仲間で活動を辞めてしまう方々のお声を聞くと「支援の方法がよくわからない。」「自分に出来ることは何もない。役に立たない。」そういった「無力感や自信喪失」から辞めてしまう方が多いと感じています。そこで諦めずに資格取得を目指したり、420 時間に通ったりする人もいますが、ボランティアが仕事でない以上、個人で頑張るのは限界があります。また、新人ボランティアに対して「まずは活動を楽しんで！」と言われることが多いですが、「楽しみたくても活動のやり方がわからなければ、そして自分は支援者として何が出来るようになればよいのかわからなければ楽しめない」です。「あいまいな言葉」ではなく「具体的なやり方」を身に付けていけるように整えることが、「学習支援者への支援」で必要なことではないでしょうか？私は、日本語教師の有資格者です。しかしながら、今は「学習支援者としての役割の専門性」を追求しながら学習支援者として活動しています。教壇に立ち、上から学習者さんを見下ろす教師ではなく、学習者さんの隣に寄り添うものとして「伴走者」として必要なことは何か？学習支援者としてプロフェッショナルを目指すべく模索は続きます。「公認日本語教師」も大変けっこうですが、日本語教師 vs 学習支援者にならないよう、支援者同士も対等な関係性をめざすなら、「学習支援者の専門性」についても積極的に考えていただきたいところです。日本語教師の方で日本語教室で学習支援をしているボランティアに対し「素人のボランティア」とおっしゃる方がいて、大変ショックを受けました…。その日本語教師の意図はわかりませんが、周りに「素人」と感じさせないためにも、学習支援者はやっぱり「目に見える形」でのスキルアップが必要だし、それはたとえ無償のボランティアであっても(無償なのは単に国が外国人支援にお金をかけられないからという内輪の都合で、教室に来る学習者さんにはなんら関係のないこと)「語学の勉強の支援」をする以上、支援者は「教える」一定レベルの具体的な知識技術が必要だと私は思います。ぜひそれを国をあげて整備していただきたいのです。「学習支援者のレベルアップがボランティアを素人と呼ばせない!ボランティアの地位向上」につながり、それは「ボランティア依存」から脱する一歩にもなりえるのではないのでしょうか？ボランティアであっても専門性を追求したいと思っている人間はたくさんいる、ということをお伝えして、まだまだたくさん話したいことはありますが、このあたりで終わりにしたいと思います。※本来なら、文化庁の方にお話しすべき内容を感想に書かせていただきましたこと、どうかお許しください。

- ・期待を裏切らない、有田先生の回でした！ 実際につなひろをお嫁さん仕様に仕立てたいと思っています。ご相談をしたいときは直接どちらにご連絡をしたらよいのでしょうか？
- ・後半のみの参加でしたが、これまでの振り返りもできて、ポートフォリオの意義も感じましたし、これからの活力になりそうな時間でした。
- ・後半からの参加でしたが、とても面白かったです。前半も参加したかったです。
- ・有田先生のお話で、「つなひろ」に関する理解が深まりました。
- ・つなひろの概要や考え方が聞けてとてもよかったです。教えるための1つの教材だと認識してしまっていたので… もっと他の方とも話してみたかったので、ブレイクを変えていただ

きたかったです！ ※最後の質問が必須になっていますので、「はい」に返事をしておきます。日本語ボラ経験しています～

- ・つなひろについては以前、講座を受講したことがありましたが、再び有田先生の講座を受講させて頂き、大変幸いに思いました。有田先生の話し方、声の調子がとても聞き取りやすく、勉強になりました。また、ブレイクアウトルームにおいて、全国の方とお話することが出来たことは、私にとって、コロナ禍の中で良かった事の一つにあげられます。最後に 半場先生、9月から12月までありがとうございました。そしてお疲れ様でした。半場先生の勤勉さには頭が下がる思いです。素晴らしく、私も見習いたいと思いました。大変有益な時間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。
- ・学習者と教師の関係も、これまでとは変わってきているように思います。「教える」ということの見直しが必要ですね。「学習者にたくさん話してほしい」と思うなら、教師の発話の仕方も工夫していきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・学習者に話をさせるという発想での指導を考えていきたいと感じました。つなひろ、どんどん増えて嬉しいです。
- ・ボランティアの目的は何か、再確認できました。
- ・私は半年ほど前に「つなひろ」を初めて知ったとき、このような教材があることに感動しました。「つなひろ」があることによって、インターネット環境さえあれば誰でも、どこでも段階的に日本語力および日本語での生活力を高めることができると感じたからです。そのため、本日は「つなひろ」の制作に携わられた有田先生からお話を聞くことができ、たいへん嬉しく思いました。また、「つなひろ」は単に日本語を指導するものではなく、学習者の生活に寄り添い、生活の中で「できる」を増やすためのものであるということがよく分かりました。今後、学習者の方と関わる際にも、本人の話したいことや自発性を大切にしながら「できる」を増やすことをはじめとした、本日学んだことを意識していきたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・楽しかったです。自分と学習者のための一つの「つなひろ」を作って行きたいと思います。とても良かったです。オンライン、対面の両方で実践できそうです。ありがとうございました。
- ・半場さんの制度趣旨に基づく活動の在り方に感動するとともに、自身の努力不足を痛感いたしました。
- ・大変勉強になりました。楽しくてあっという間の4時間でした。ありがとうございました。タイトル内容「地域日本語教育におけるカリキュラム作成で・・・」のようなことを身につけることはすぐには難しいと思いますが、その方向を目指していきたいと思いました。

3、本シリーズ講座(9 月 20 日～本日まで)を通して、「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解が深まりましたか

- ・深まった 21
- ・まあまあ深まった 2
- ・深まらなかった 0
- ・わからない 0

4、本シリーズ講座(9 月 20 日～本日まで)を受けて、「生活者としての外国人」のための日本語教育に関わってみたいと思いましたか(日本語ボランティアをしたことがない人のみお答えください) ※経験者の数字も含まれている！？

- ・はい 14
- ・いいえ 0